

JIS

レディーミクストコンクリート

JIS A 5308 : 2014

平成 26 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河野 広隆	京都大学
(委員)	阿部 道彦	一般社団法人日本建築学会 (工学院大学)
	綾野 克紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	宇治 公隆	公益社団法人土木学会 (首都大学東京)
	木幡 行宏	室蘭工業大学
	小林 延房	一般社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	清水 和久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴木 一雄	全国生コンクリート工業組合連合会
	須田 久美子	鹿島建設株式会社
	棚野 博之	独立行政法人建築研究所
	西田 礼二郎	一般社団法人セメント協会
	真野 孝次	一般財団法人建材試験センター
	利藤 房男	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡辺 博志	独立行政法人土木研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.11.7 改正：平成 26.3.20

官 報 公 示：平成 26.3.20

原案作成協力者：全国生コンクリート工業組合連合会

(〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル TEL 03-3553-7232)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 河野 広隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類	1
4 品質	2
4.1 強度, スランプ又はスランプフロー, 空気量, 及び塩化物含有量	2
5 容積	3
6 配合	3
7 材料	4
7.1 セメント	4
7.2 骨材	4
7.3 水	4
7.4 混和材料	4
8 製造方法	4
8.1 製造設備	4
8.2 材料の計量	6
8.3 練混ぜ	7
8.4 運搬	7
8.5 回収骨材の取扱い	7
8.6 トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの取扱い	8
8.7 品質管理	8
9 試験方法	9
9.1 試料採取方法	9
9.2 強度	9
9.3 スランプ	9
9.4 スランプフロー	9
9.5 空気量	9
9.6 塩化物含有量	9
9.7 容積	9
10 検査	9
10.1 検査項目	9
10.2 強度	10
10.3 スランプ又はスランプフロー, 及び空気量	10
10.4 塩化物含有量	10
10.5 指定事項	10

	ページ
11 製品の呼び方	10
12 報告	11
12.1 レディーミクストコンクリート配合計画書及び基礎資料	11
12.2 レディーミクストコンクリート納入書	11
附属書 A (規定) レディーミクストコンクリート用骨材	19
附属書 B (規定) アルカリシリカ反応抑制対策の方法	24
附属書 C (規定) レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水	26
附属書 D (規定) トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用方法	34
附属書 E (規定) 軽量型枠	39
解 説	43

沖縄県J I S協会 御中
TEL/FAX(098)859-6195

注文書

平成 年 月 日

J I S 番号または図書名		数量	単価	金額
1				
2				
3				
4				
5				
		冊		合計

【注文者】

〒 _____

所在地 _____

社名 _____ 電話 _____

部課名役職 _____ 氏名 _____